

# 土木交通委員会 請願・陳情一覧

令和元年11月19日(火)

## ○緑政土木局関係

### (新規分)

- |            |  |
|------------|--|
| 令和元年請願第12号 | 弥富相生山線の完成に必要な予算措置を速やかに講じ、早期に開通させることを求める件 (採択)                    |
| 令和元年陳情第9号  | 天白区相生山緑地を横断する弥富相生山線の道路事業の完全廃止を求める件                               |
| 令和元年陳情第10号 | 中断された弥富相生山線を8割完成と言う人がいることに対して、予算の約8割を執行したのであって8割完成とは違うと正すことを求める件 |
| 令和元年陳情第11号 | 相生山緑地整備に係る素案におけるふれあいの丘と称する施設の場所及びアクセス方法の変更を求める件                  |
| 令和元年陳情第12号 | 相生山緑地の整備計画について、100年先を見据え、環境問題から検討することを求める件                       |
| 令和元年陳情第13号 | 相生山緑地に市民本位の緑地公園を造ること等を求める件                                       |

### (保留分)

- |           |   |
|-----------|---|
| 令和元年請願第9号 | 相生山緑地に関する道路事業の廃止と整備について、市民による住民意向調査の集計結果を尊重し、反映させることを求める件 (不採択) |
|-----------|---|

子  
ま  
あ  
く

## 令和元年請願第12号

弥富相生山線の完成に必要な予算措置を速やかに講じ、早期に開通させることを求める件

請願者 天白区天白町大字野並字相生28番地の927  
相生山道路早期完成協議会  
代表 杉 藤 清 行

### 要 旨

平成16年3月に建設工事に着手した弥富相生山線は、平成22年に河村市長自身の判断により、計画の8割が完成していたにもかかわらず、突如工事が中断された。その後、河村市長は、平成26年12月に「相生山について」と題する文書により、一方的に「弥富相生山線の道路事業は廃止する」と表明し、現在、既設の道路施設等を相生山緑地公園の一部に組み込み、公園内の園路等とする計画を立てている。

しかし、このようなことは多くの地元住民の意見を無視したものであり、認められない。もともと道路整備と緑地整備は別々の事業として進めてきたものであり、弥富相生山線は、生活道路を始めとして、交通安全、防災・防火等の観点から、昭和32年に都市計画道路として決定されたもので、都市計画法に基づき事業認可された公道である以上、早期に完成させる必要がある。土地を提供してくれた人も、公道の整備のためであるから買収に応じたのであって、園路の整備のために応じたものではない。

地元地域では、長年、周辺道路の交通渋滞とそれに伴う生活道路への車両の流入が続いており、通学路を始めとする交通安全の確保や生活環境の改善が大きな課題となっている。また、救急車両の到着・搬送時間の短縮や、火災・地震等の災害時の緊急車両の通行、避難経路の確保といった救急・防災上の課題もある。これらの諸課題に対応する上で、弥富相生山線の開通が効果的であることは、市長の諮問委員会である相生山緑地の道路建設に係る学術検証委員会においても証明されている。

河村市長は、事業廃止の理由として、自然破壊のおそれを挙げているが、科学的根拠のない主張である。道路が開通しても、近隣住宅地を通過していた車が利用するだけで、このエリアの通行量が増えるものではない。また、そもそも相生山は一度伐採された後に造られた人工林であり、国内外の外来種も含んだ都市生態系で、ヒメボタルも人為的に持ち込まれたものであり、その他の動植物類についても絶滅のおそれはないと考えられる。さらに、相生山の動植物生態系は、小幡緑地を始めとする他の緑地公園とほぼ同一であり、種の保存は担保されている。

弥富相生山線の道路事業には既に総額29億円以上もの税金が投入されており、8割も工事が進んだ時点で事業を廃止することは、税金の無駄遣いであるばかりか、行政の連続性に鑑みても、市への信頼を著しく失墜させるものである。平成25年度には早期開通を求める請願が採択されており、地元住民の意向を無視した強引な道路事業の廃止は直ちに撤回し、弥富相生山線を完成させるべきである。

については、次の事項の実現をお願いします。

- 1 弥富相生山線の完成に必要な予算措置を速やかに講じ、早期に開通させること。

天白区相生山緑地を横断する弥富相生山線の道路事業の完全廃止を求める件

陳情者 緑区神沢一丁目2011番地

杉本哲夫

要旨

弥富相生山線の開通により、植田周辺の交通渋滞はある程度緩和されると思う。しかしながら、その分、菅田橋への車の流入量が増えることになり、それにより新たに複数の他の地域において渋滞が多発すると考えられる。

開通後、さらなる渋滞が発生する地域及び路線として、昭和高校周辺・菅田橋周辺、久方交差点・相生山交差点、ほら貝一丁目交差点・ほら貝東交差点、桃山交番前交差点・地下鉄神沢駅周辺、黒沢台四丁目交差点、ほら貝一丁目交差点から鳴子みどりヶ丘交差点・神沢一丁目・桃山交番前交差点・黒沢台四丁目交差点へ向かう抜け道が考えられる。

神沢一丁目から桃山交番前交差点を経由して黒沢台四丁目交差点へ向かう道路が、神沢一丁目内で唯一、東海通から国道302号、鳴海インターチェンジ、さらに徳重方面へ通じる道路で、地下鉄神沢駅へ向かう歩行者の多い道路である。また、神沢中学校の通学路にもなっており、桃山小学校の児童はこの道路を横断する。しかしながら、この道路は幅が約5メートルしかなく歩道はない。車2台がすれ違うのがやっとであり、歩行者がいると車が行き違うことができない。人身事故も多発しており、2019年7月にも人身事故があった。通行車両により2度にわたって塀を壊された家もある。また、ほら貝一丁目交差点・ほら貝東交差点、桃山交番前交差点・地下鉄神沢駅周辺、黒沢台四丁目交差点が渋滞するため、ほら貝一丁目交差点から鳴子みどりヶ丘交差点を経由して神沢一丁目へ向かう道路への車の入込みが非常に多い。この道路は下り坂ということもあり、狭い道路であるにもかかわらずスピードを出す車が多く、周辺住民がいつか死亡事故が起きるのではないかと心配している危険な道路である。2011年の高速名古屋環状2号線鳴海インターチェンジ及び国道302号の開通以降、東海通の通行量は年々増えており、朝夕の渋滞も激しい。

弥富相生山線が開通した場合、前述した地域及び路線の道路の渋滞が激しくなり、それに伴う事故が増加し、また、桃山学区の住民の車による東海通への流入が困難になる可能性が高くなるなど、地域住民の生活が脅かされる危険性が高まることから、弥富相生山線は、利便性の向上よりも、この地域住民に多大な迷惑が生ずる可能性が高い道路であると考えられる。

ついては、次の事項の実現をお願いする。

- 1 現在工事を中断している弥富相生山線の工事再開に断固反対し、工事を完全に中止すること。

## 令和元年陳情第10号

中断された弥富相生山線を8割完成と言う人がいることに対して、予算の約8割を執行したのであって8割完成とは違うと正すことを求める件

陳情者 天白区天白町大字野並字稲田2005番地の236  
外波山 節子

### 要旨

名古屋市内に残された、東山動植物園の2倍以上の広さの希少な相生山緑地をこれからも維持したいと切に願う。

2018年に公表された相生山緑地基本計画の素案にある、建設済みの道路部分を園路という名で活用する計画は、相生山緑地を分断して、生物多様性・生態系の保全を阻害するものであり、必要ないと考える。

近所の知人は、道路が8割完成しているのに、ここで止めてしまうのは税金がもったいないと思いをしている。現状は、供用可能な道路として完成している部分は1メートルもない。

総事業費約36億円のうち約8割の約29億円を執行していて、そのうち道路用地取得の費用として約16億円を執行している。取得した用地は公園として利用するのだから無駄にはならない。

予算の約8割を執行したことで8割の道路が完成したことで大きく意味が違うのに、そのように声高に言いふらす人がいる。マスコミもしばしば勘違いさせるような報道をした。8割完成と8割着手済みとの違いは、とてつもなく大きいものである。市としてその違いを正してほしいと願う。

ついては、次の事項の実現をお願いする。

- 1 中断された弥富相生山線を8割完成と言う人がいることに対して、予算の約8割を執行したのであって8割完成とは違うと正すこと。

## 令和元年陳情第11号

相生山緑地整備に係る素案におけるふれあいの丘と称する施設の場所及びアクセス方法の変更を求める件

陳情者 天白区天白町大字野並字相生28番地の341  
相生山の自然を守る会  
代表 近藤 国夫

### 要 旨

2018年12月に示された「相生山緑地基本計画の素案について」を見ると、ふれあいの丘と称する施設が相生口から150メートルほど西に入った場所に記載されている。

このふれあいの丘は、障害の有無にかかわらず、誰もが自然、農とふれあい、楽しむことができる、相生山緑地の拠点となる場所と素案にうたわれている。そして、建設済みの道路部分を活用して、ふれあいの丘へのアクセスを確保するとしている。そのアクセス方法は、建設済みの道路部分から、新たにふれあいの丘まで園路を新設するもので、これでは、ふれあいの丘を経由して相生口と下山畑口を行き来できるようにすることになり、弥富相生山線の道路事業は廃止するとの市長表明に全く反するのではないか。明らかに弥富相生山線の建設そのものである。相生山緑地は、道路建設工事が中断され、辛うじてナゴヤドーム25個分もの広さのまとまった緑地が残された。そこに、このようなアクセス路ができれば弥富相生山線が造られたことと同じになり、アクセス路で南北に分断された相生山緑地は小さな2つの緑地が残るだけになってしまう。これでは、今は緑地のどこでも見ることのできるヒメボタルや営巣するかもしれないオオタカなどに回復不可能な影響を与えるおそれがある。

そこで、ふれあいの丘と称する施設の整備には、現在ゴルフ練習場になっているところを充てれば、幹線道路の名古屋中環状線に直結でき、当該施設の趣旨にも沿うのではないか。また、万一野並地区から市民が避難するような事態が発生してもアプローチしやすく、防災拠点としてもこの場所が優れていることは明らかである。したがって、ふれあいの丘と称する施設を基本計画の素案に示された場所に設置しないこと及びアクセス路を建設しないことを求める。

ついては、次の事項の実現をお願いする。

- 1 相生山緑地整備に係る素案におけるふれあいの丘と称する施設の場所及びアクセス方法を変更すること。

## 令和元年陳情第12号

相生山緑地の整備計画について、100年先を見据え、環境問題から検討することを求める件

陳情者 天白区天白町大字野並字相生28番地の341  
福井 清

### 要旨

地球温暖化によると言われる異常気象が常態化し、大洪水や熱波等の自然災害が起きている。気候が予測不能な段階にきており、都市部ではヒートアイランド現象による人体や自然環境への影響が深刻な問題となってきた。その主な要因として、緑地や水面の減少、アスファルト等に覆われた地面の増大、自動車や建物等から出される熱の増大、都市形態の高密度化が挙げられている。地球温暖化対策、生態系の保全、ヒートアイランド対策、景観保全、緑化推進等が求められている。

このような地球環境、都市環境の中で、名古屋市では現在、相生山緑地の整備計画が検討されている。都市に残された、約130ヘクタールもある大きくまとまったこの相生山緑地は、道路建設の跡が残るものの、一体としての生態系を育んでいる。

相生山緑地では、道路建設のために1000本以上の高木等が伐採され、地表面被覆は人工化され、西側では幅約15メートル、長さ約430メートル、東側では長さ約150メートルの空がのぞいている。そこから日光等が差し込み、風が吹き抜け、森の乾燥化が進むことで、生態系への影響が危惧されている。生態系の保全には、生命の連鎖の尊さと、その歴史を忘れることなく、生物多様性の視点を持つことが重要であると考えられる。

名古屋市では、環境首都なごやを標ぼうし、生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）を契機として市長により道路建設が中断され、環境基本計画を始め、低炭素都市2050なごや戦略、生物多様性2050なごや戦略、水の環復活2050なごや戦略等が策定されている。しかし、相生山緑地基本計画の素案は、これらが包括的に関連付けられて作成されているとは思えない。

待ったなしの環境問題は、この基本計画にも問いかけている。相生山緑地の整備を進める中で、地球規模の異常気象の対策としてどのように生態系の保全をすればよいのか、ヒートアイランド対策として人工化した地表面被覆や緑地の減少をどのようにすればよいのか、生活サイクルをどのように転換すればよいのかなどの問題にどのように応えていくのが、私たち一人一人に問われている。

未来への責任として、都市に残されたこの大きくまとまった緑地が、100年先にはさらに豊かな生態系としてつなげられることを願っている。

ついては、次の事項の実現をお願いします。

- 1 相生山緑地の整備計画について、100年先を見据え、環境問題から検討すること。

相生山緑地に市民本位の緑地公園を造ること等を求める件

陳情者 春日井市押沢台7丁目14番地12  
木村みよ

要旨

弥富相生山線が計画されたときと比べ、現在の環境をめぐる情勢は大きく変化している。車社会を前提とした都市計画から脱車社会の都市計画へと世界のすう勢は変化している。また、人間の営みにとっていかに自然環境が重要なものであるかは、人々の共通認識になっている。地下鉄の開通や名古屋環状2号線及び高速名古屋環状2号線の供用により、弥富相生山線は市長の言葉を借りればいらん道路となり、当初の計画時とは事情が異なっている。

都市開発は進み、自然は隅に追いやられ、経済発展の名の下に自然は犠牲にされている。相生山緑地ほどのまとまった広さの自然が残っていることは名古屋市にとってどんなに幸せなことであろうか。次の世代、その次の世代と100年、200年先のことを考えると、相生山緑地の価値は計り知れないものがある。この宝を大切に、豊かな名古屋市をつくることは、行政としてやりがいのある仕事であり、市民とその子孫に対しての責任ある仕事であるとする。

職員は相生山緑地へ行き、耳を澄まして自然の声を聞くことが第一に必要であろう。地球規模の問題として相生山緑地を位置付け、市民が本当に望んでいるのは自然を守り、それを市民のために生かすことであるという認識をしっかりと持ち、道路を廃止し、自然公園に変えるという先駆的な都市づくりを実現することがこれからの社会に必要なことである。

ついては、次の事項の実現をお願いする。

- 1 都市計画変更による弥富相生山線の廃止の手續を速やかに進めること。
- 2 都市に残された貴重な自然を保全し、市民がその自然を享受できるような公園を造ること。
- 3 市長や職員は道路廃止の意味を深く理解し、誇りを持ってその仕事を進めること。



## 令和元年請願第9号

相生山緑地に関する道路事業の廃止と整備について、市民による住民意向調査の集計結果を尊重し、反映させることを求める件

請願者 天白区天白町大字野並字稲田2005番地の 236  
相生山緑地を考える市民の会  
共同代表 外波山 節子

### 要旨

2014年12月26日に河村市長は、市道弥富相生山線の道路事業の廃止、近隣住宅地への通過自動車の入り込みの対策、相生山緑地の整備を表明した。

2010年に河村市長の命により市道弥富相生山線の建設工事が中断され、道路建設についての検証が有識者で構成された学術検証委員会で6回行われ、報告書が河村市長に提出された。報告書に地域住民等の高度な判断とあることを受けて、2013年の市長選挙で河村市長は、相生山は住民投票で、としていた。しかし、実際には住民投票ではなく、道路事業の是非の判断をするための住民意向調査を、2014年10月11日に天白区役所において行い、住民の意向を聴取した。

河村市長の道路事業の是非に関する判断に至るまでの経緯の中で、私たち相生山緑地を考える市民の会は、名古屋市都市計画公園緑地である相生山緑地を横切る市道弥富相生山線の建設工事に関して、市民・住民の意向が是か非かを知ることが目的に、2014年9月27日から10月31日までを調査期間として市民による住民意向調査を行った。1093人の市民がこのアンケートに回答したが、その結果は、「道路を中止して緑地にする」が74%、「継続して道路建設をする」が16%、「わからない」が10%であった。また、それぞれの理由を10項目から選択した結果は、「道路を中止して緑地にする」と答えた人の70%以上が「緑地を分断して自然を破壊するから」及び「ヒメボタル・オオタカの生息地を守る」の2項目を理由として選んでいる。このような市民・住民の意向を伝えると同時に、このアンケートの集計結果を尊重し、市政に生かすようお願いする。

2010年に生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）が名古屋市で行われ、生物多様性・生態系の保全が盛んに叫ばれ、昨今それらの重要性はさらに増し、私たちに問いかけている。2014年12月の河村市長の道路建設廃止の表明から4年を経て、2018年12月に相生山緑地基本計画の素案が公表された。世界の「AIOIYAMA」プロジェクト検討会議で検討されてきたこの素案は、市民の意向からも、生物多様性・生態系の保全からも遠くかけ離れている。豊かな自然を論点にしたコンセプトに基づき、市民の意向に沿った緑地整備の計画にしてほしい。また、緑地整備の計画に市民が参画できるシステムを設けることにより、市民の意向が尊重され、反映され、市民の活力が生かされる市政が実現するようにしてほしい。

速やかに道路建設の廃止が都市計画で決定され、新たな相生山緑地が市民の願いの結晶として世界に発信できるようになることを願っている。

については、次の事項の実現をお願いします。

- 1 河村市長が表明した市道弥富相生山線の道路事業廃止及び近隣住宅地への通過自動車の入り込みの対策については、市民による住民意向調査の集計結果を尊重し、速やかに実現すること。
- 2 河村市長が表明した相生山緑地の整備については、市民による住民意向調査の集計結果を尊重し、緑地を分断して自然を破壊しないこと。また、ヒメボタル・オオタカの生息地を守ること。
- 3 相生山緑地の整備に、市民の意向を尊重し反映するために、市民が参画できるシステムをつくること。

(参 考)

令和元年9月9日 保 留